

一 會見狀況

日 時 十二月十二日午後四時

場所 富 廳 調 停 課

工場主側 深見治三郎 大熊 豊

従業員側 田中謙一 外 九名

ニシテ劈頭ヨリ従業員側ニ於テ稍々昂奮ノ態度ニテ會見ニ臨  
ミ十二月八日ノ予備的交渉顛末ニ言及シ更ニ工資ニ割値下ノ  
理由等ノ質問ヲナシ工場主ヨリ製産高ニ應スル販賣價格ヨリ  
見テニ割値下ノ已ムヲ得サル理由ヲ列擧シ經濟界ノ好轉ニ依  
リ順次値上ケノ可能性ヲ述ヘタルカ従業員代表ハ從來ヨリ高  
級ナラサル日給ヲ支給セラレツ、アルノミナラス三ヶ月ニ巨  
ル爭議ノ為ノ直接生活ニ及ホス影響ハ甚大ナルニ鑑ミ現下ノ  
値下ハ断ニテ容認不可ナリト主張シ工場主ヨリ五分ノ讓歩案  
ヲ提示(但手當ヲ除キル本給一割五分案)セルニ對シ従業員代表ハ考慮

ノ余地ナシト之ヲ拒絶シ勞資昂奮セルモ午後六時三十分一旦  
休憩ニ入り今七時再會シタルカ両者依然トシテ前案ヲ固持シ  
テ讓ラス事態險惡ノ状勢ナリシカ事業主側ニ於テ若干讓歩ス  
ルノ模様アリタルヲ以テ従業員ハ一時休憩ヲ希望シコレカ對  
策ニ入り代表ノ一部ハ工場ニ歸リ従業員一同ニ此ノ旨ヲ諮リ  
態度ヲ決定シ午後九時ヨリ再交渉ニ入り従業員側ヨリ個人的  
生活ヲ基準トシ妥協点ヲ見出サレ度シト懇請シ又々休憩ニ入  
リ午後十時十分再會見後従業員側ヨリ七分五厘ノ妥協案ヲ提示  
セルニ工場主ハ頑トシテコレニ應セズ再度險惡ナル状態トナ  
リシヲ調停官ノ斡旋ニヨリ双方一割減ノ妥協案ヲ提示シ考慮  
ヲ求メ工場主ヨリ一割減ニテ解雇者ノ指名ヲ事業主ニ一任セ  
ラレ度シトノ主張ニ對シ論議ヲ重シ結極工賃一割ノ値下案ハ  
双方ノ互讓ニ依リ解決セルモ解雇者ノ指名問題ニ關シテハ後  
日ノ紛糾ヲ慮レ慎重審議ノ末人選ハ従業員ノ代表一任トナシ